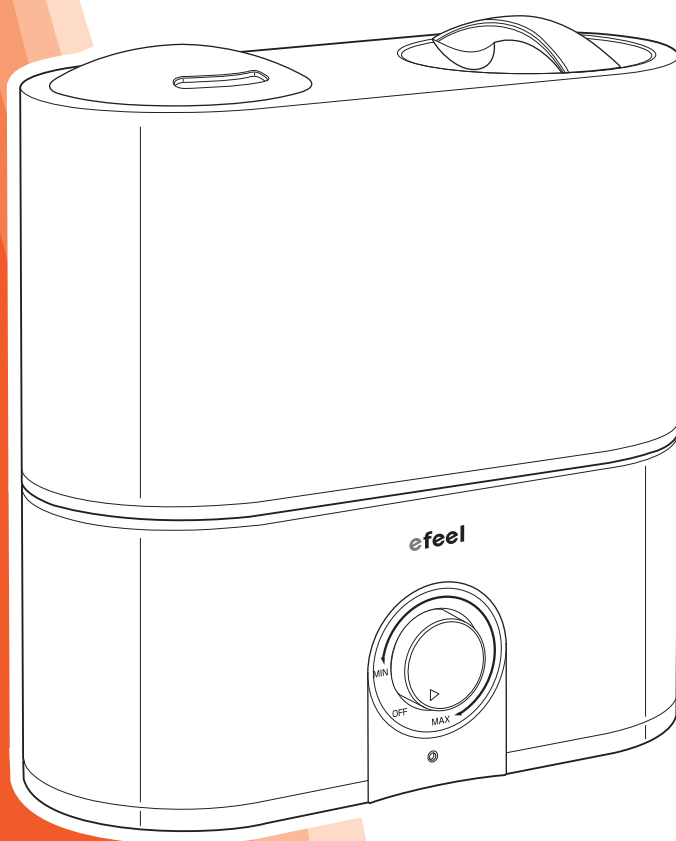
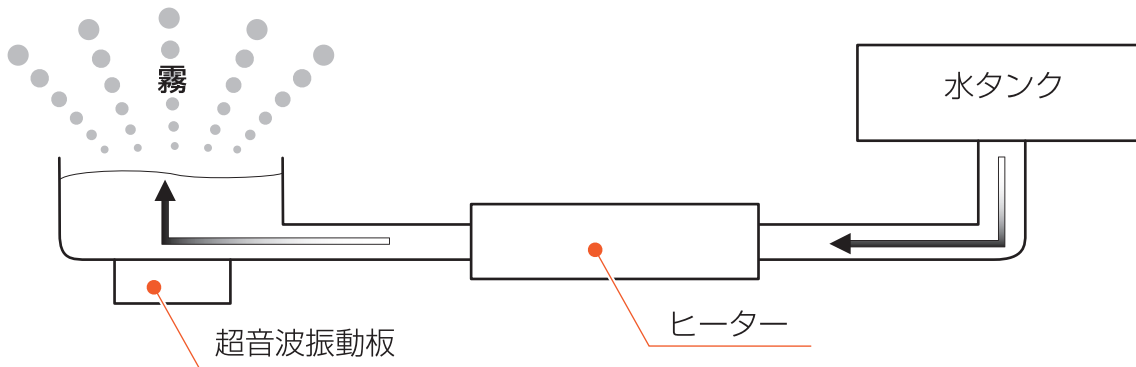
efeel

ハイブリッド加湿器

UHM-400T

取扱説明書

●このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
●この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
●**ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
●この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができる
　よう大切に保管してください。

本機の特長と加湿のしくみについて

この加湿器は「加熱」＋「超音波」によるハイブリッドタイプです。

●銀系抗菌剤配合でタンクがきれい。

※試験方法：JIS Z 2801（フィルム密着法）
※試験機関：（財）日本紡績検査協会

●室温を下げません。やけどの心配がありません。

約50℃に暖められた水が、超音波振動により霧状になって、室内を加湿します。

●加熱式に比べて静か。

水を沸騰させることなく、超音波振動で水を霧状にして加湿するので、沸騰する音がしません。

●イオン交換樹脂フィルターで、水道水に含まれるカルシウム分やマグネシウム分を取り除き、“白い粉”を付着しにくくします。

加湿器から発生する霧が蒸発すると、加湿器周辺に白い粉状のものができることがあります。これは霧（水道水）に含まれるカルシウムやマグネシウム等のミネラル成分で、人体には無害です。
ただし、家具や電気製品・精密機器などの近くで使用したりすると、動作不良や故障、家財をいためる原因となる場合があります。
白い粉が付着した場合は、すぐに水に浸した柔らかい布を固くしぼって拭き取ってください。
白い粉が目立つときは、ご使用の環境に合わせて加湿量や吹出口の向きを変えてお使いください。

目次

安全上のご注意 …… 3
使用上のご注意 …… 6
設置場所について …… 7
各部のなまえ …… 8
ご使用前の準備 …… 10
運転する …… 11
お手入れと収納 …… 12
お手入れのしかた …… 12
タンク・タンクキャップ …… 12
本体 …… 13
スポンジフィルター …… 14
イオン交換樹脂フィルターの交換 …… 15
収納のしかた …… 15
故障かな？と思ったら …… 16
別売品 …… 16
仕様 …… 17
保証とアフターサービス …… 17

安全上のご注意

ご使用になる前に、この**「安全上のご注意」**をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、**「警告」「注意」**の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

 してはいけない「禁止」内容です。

しなければならない「強制」内容です。

⚠ 警告

禁止	●**改造はしない。 また修理技術者以外の人は、分解・修理をしない。** 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。
	●**電源コードや差込プラグを傷つけたり、無理に曲げたり、無理に引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。** 破損し、火災・感電の原因になります。
	●**電源コードや差込プラグを傷つけたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。** 火災・感電の原因になります。
	●**交流100V以外では使用しない。** 火災・感電の原因になります。
	●**子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所やペットの近くで使用しない。** けがや感電の危険があります。
	●**加湿吹出口から噴霧される霧は吸入しない。** 健康を害する恐れがあります。

⚠ 警告

<table>
<tr><td rowspan="5">
禁止</td><td>●加湿吹出口から絶対に給水しない。
故障や感電の原因になります。</td></tr>
<tr><td>●濡れた手で差込プラグの抜き差しをしない。
感電の原因になります。</td></tr>
<tr><td>●テレビ、ステレオ、ホットカーペットなど、電気製品の上で使用しない。
水がこぼれると故障や感電の危険があります。</td></tr>
<tr><td>●運転しながらメンテナンスをしない。
感電の危険があります。</td></tr>
<tr><td>●本体や電源コード、差込プラグを水に浸けたり、水洗いしない。
故障や感電の危険があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">
必ず実施</td><td>●お手入れや点検、移動の際は、必ず差込プラグをコンセントから抜く。
感電やけがの原因になります。</td></tr>
<tr><td>●差込プラグのほこりは定期的にとる。
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。</td></tr>
</table>

⚠ 注意

禁止

● **浴室など湿気の多い、水のかかる場所で使わない。**

火災・感電・故障の原因になります。

● **食用油など油成分の浮遊している場所で使わない。**

ひび割れ・落下によるけがの原因になります。

● **乗ったり寄りかかったりしない。**

転倒によるけがや故障の原因になります。

● **本製品を、他の用途や屋外で使用しない。**

この製品は、室内用の加湿器です。他の目的や屋外で使用すると、けがや故障の原因になります。

● **可燃性のものや火のついたタバコや線香などを近づけない。**

発火することがあります。

● **加湿吹出口や吸気口に指や金属物などの異物を入れない。**

感電・故障の原因になります。

● **ベンジンやシンナーで拭いたり、殺虫剤をかけない。**

ひび割れや感電・火災の原因になります。

● **本製品に腰掛けたり、物を載せない。**

故障の原因になります。

必ず実施

● **差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず差込プラグを持って抜く。**

コードが破損し、火災・感電・ショートの原因になります。

● **長時間使わないときは、必ず差込プラグをコンセントから抜く。**

絶縁劣化により火災・感電の原因になります。

使用上のご注意

<table>
<tr><td rowspan="12">
禁止</td><td>● 不安定な場所で使わない。倒したり、傾けたりして使わない。
転倒・落下によるけがや故障の原因になります。</td></tr>
<tr><td>● 直射日光の当たる場所で使わない。
誤動作や変色の原因になります。</td></tr>
<tr><td>● 暖房機器など熱いものに近づけない。
熱により、変形・変色の原因になります。</td></tr>
<tr><td>● 電源コードに本体または重いものを載せたり挟み込んだりしない。
電源コードが破損し火災・感電の原因になります。</td></tr>
<tr><td>● 濡れた場所の上に置かない。
故障の原因になります。</td></tr>
<tr><td>● 本体のお手入れに洗剤を使わない。
本体を傷めたり、割れたりする恐れがあります。</td></tr>
<tr><td>● テーブルや机の下で使用しない。
加湿吹出口の上をふさぐと、霧（湿った空気）が部屋中に行き渡りません。
故障の原因になります。</td></tr>
<tr><td>● 塩素系、酸性およびアルカリ性洗剤は使用しない。
各部品が傷付いたりする恐れがあります。</td></tr>
<tr><td>● 電気製品やパソコン・精密機器の近くでは使用しない。
機器の故障を引き起こす場合があります。</td></tr>
<tr><td>● 加湿吹出口を壁面に向けない。
霧にあたり続けると、壁紙を傷める恐れがあります。</td></tr>
<tr><td>● 運転中にタンクを外さない。
水が飛び散る恐れがあります。</td></tr>
<tr><td>● イオン交換樹脂フィルターを使わずに運転しない。
カルキの白い粉が飛散する恐れがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">
必ず実施</td><td>● タンクをはずすときは、取っ手とタンクの底を持つ。
落下し、故障・破損の原因になります。</td></tr>
<tr><td>● 運ぶときは、本体底を持つ。
落下し、故障の原因になります。</td></tr>
<tr><td>● タンクには水道水を入れる。
赤水などを使用すると、故障の原因になります。</td></tr>
<tr><td>● 一週間以上使用しない場合は、必ずタンクの水を捨てる。
水が入ったまま放置しておくと、異臭や故障の原因になります。</td></tr>
</table>

設置場所について

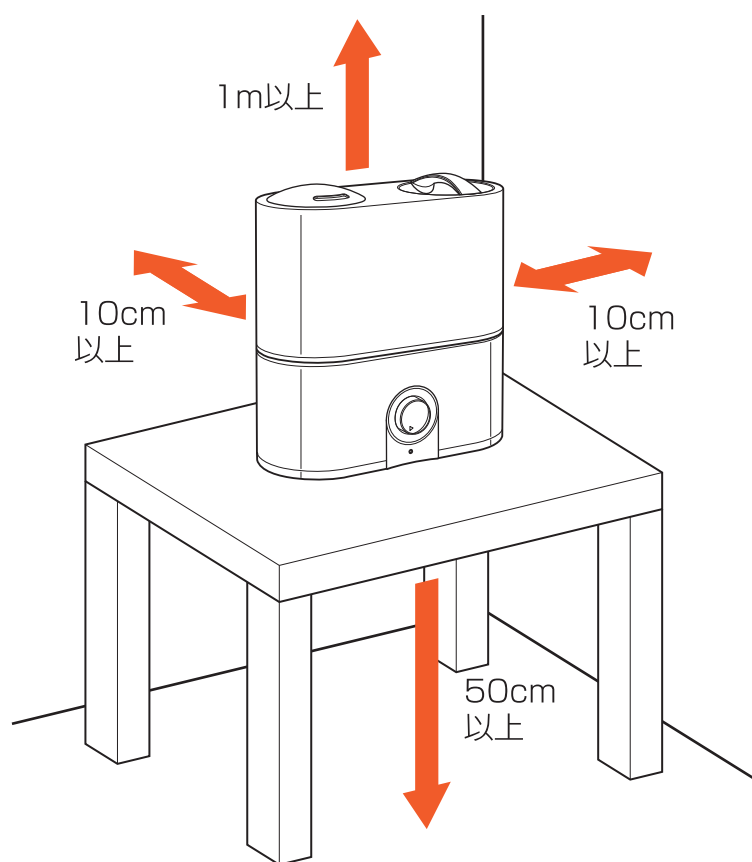
以下を参考にして、設置する場所を決めてください。

●安定した水平な台の上に置く

●周囲との距離を十分あける

本体の誤動作および加湿による
壁・家具などの変形やシミ防止の
ため右図のように周囲との距離を
十分にとってください。

●テレビ・ラジオ・電波時計などの電波を利用する機器からは1m以上離す

電波障害の原因になります。

⚠注意

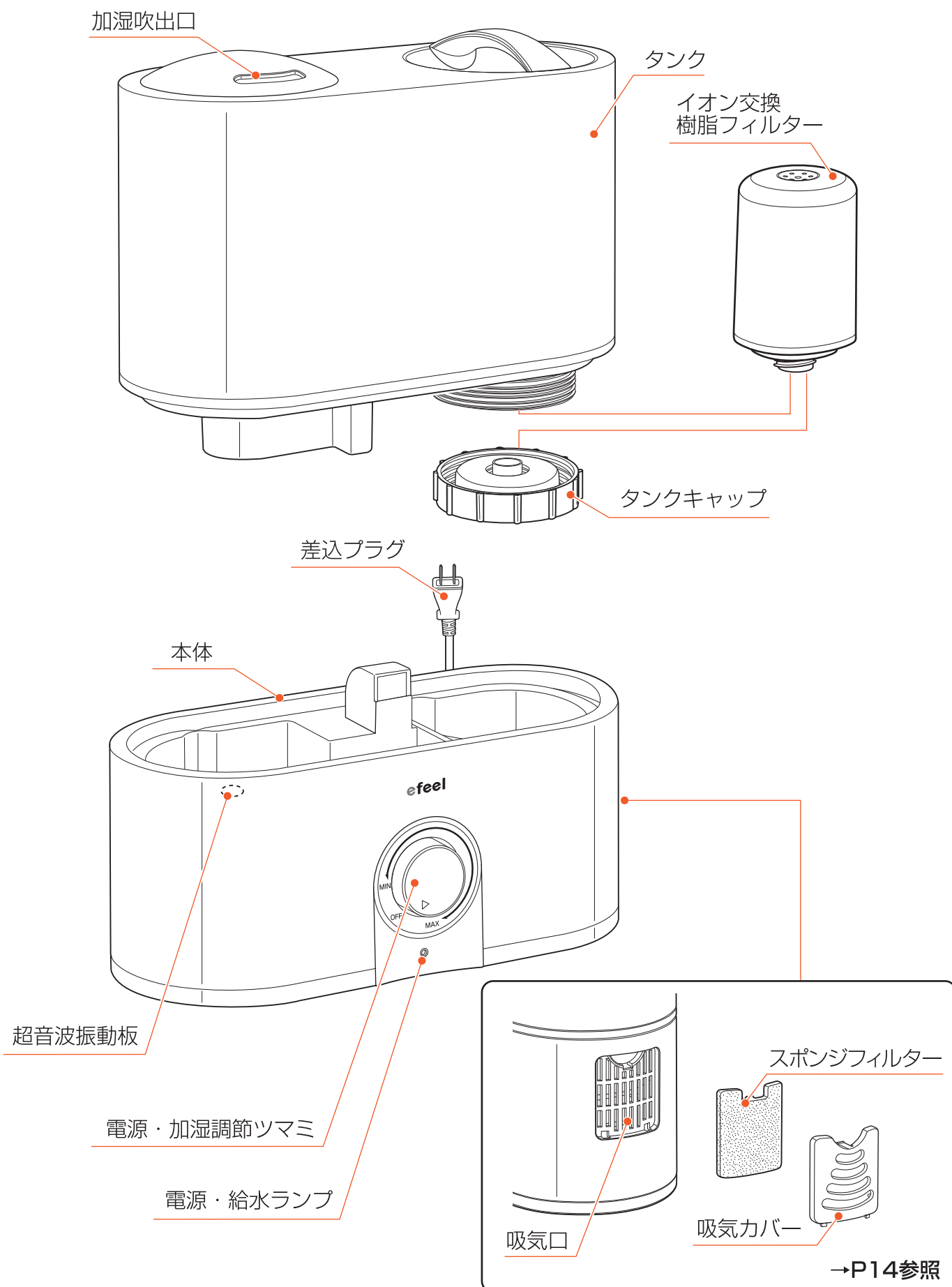
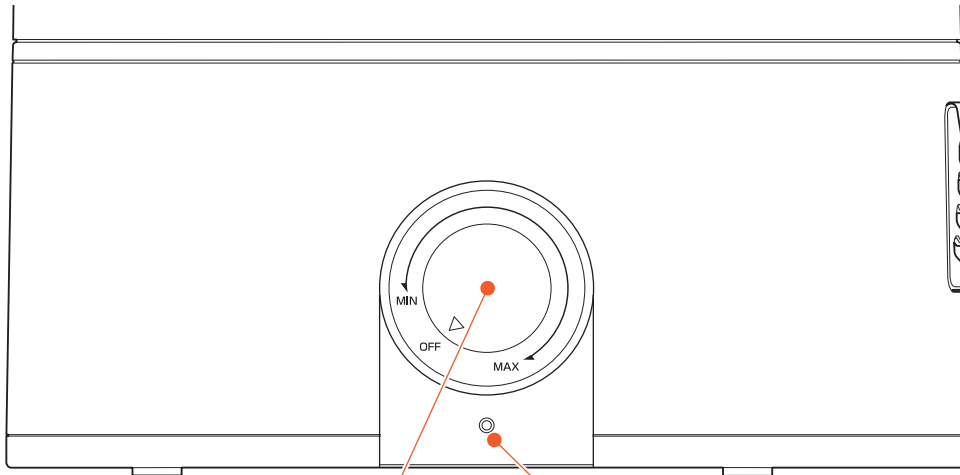
次のような場所には設置しないでください。

- ●直射日光の当たる場所や暖房機などの近く。
  変形・変色の原因になります。
- ●加湿吹出口や吸気口をカーテンなどでふさぐ場所。
  故障の原因になります。

各部のなまえ

加湿吹出口
タンク
イオン交換
樹脂フィルター
タンクキャップ
差込プラグ
本体
efeel
MIN
OFF
MAX
超音波振動板
電源・加湿調節ツマミ
電源・給水ランプ
スポンジフィルター
吸気口
吸気カバー
→P14参照

操作パネル

電源・加湿調節ツマミ

- 右に回すと運転開始
  ※最大（MAX）約400mℓ/hまで
  加湿量の調節可能
  ※タンク満水（約4.0ℓ）で
  最大（MAX）運転時約10時間
  加湿可能
  （周りの温度・湿度条件により異なります）
- 「カチッ」となるまで左に回すと
  運転停止

電源・給水ランプ

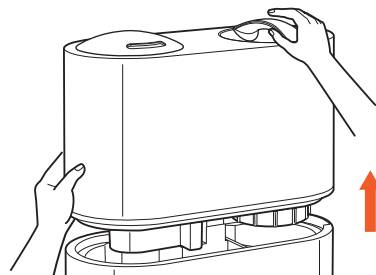
- 電源・加湿調節ツマミを回すと緑の光が点灯
- タンクの水がなくなると赤い光が点灯
- タンクが本体からはずれていると赤い光が点灯

ご使用前の準備

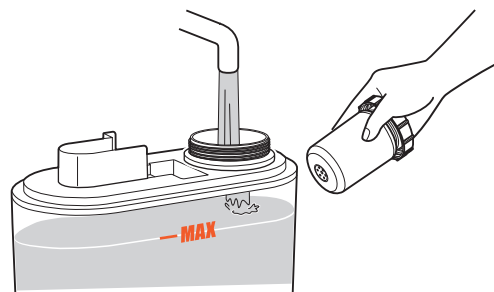
タンクに水を入れる

P7「設置場所について」に従って、正しい設置場所に置いてから水を入れてください。

1 **本体からタンクをはずす**

取っ手とタンクの底を持って
はずしてください。

2 **タンクキャップをはずし、**
タンクに水を入れる

イオン交換樹脂フィルターに
注意しながらはずしてください。

※MAXの位置以上入れないでください。

⚠ 注意

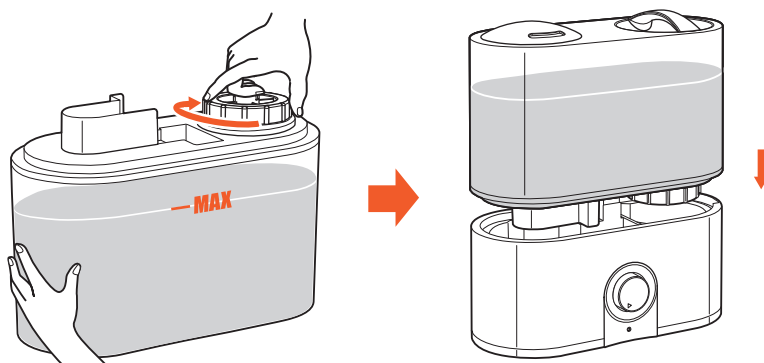
必ず水道水（飲用）を入れてください。

- 一般に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいためです。
- タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。
  お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康によくないことがあります。

以下のような水はタンクに入れないでください。

- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 40℃以上のお湯やアロマオイル、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤を入れた水などは、製品の変形・故障の原因になります。

3 **給水後、タンクキャップを**
しっかり締め、タンクを
本体に取り付ける

水もれがないことを確認し、
タンクの周りについた水滴は
必ず拭き取ってください。

運転する

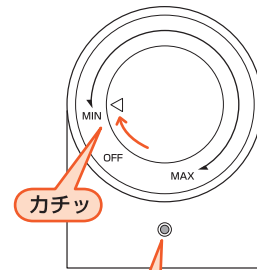
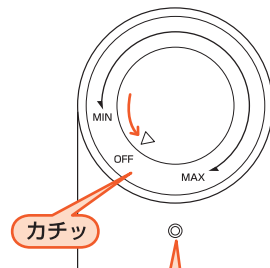
タンクが本体に確実にのっていることを確認してください。
はずれていると電源が入りません。

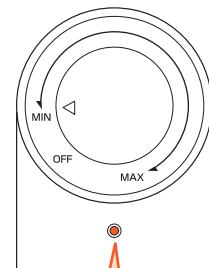
1 差込プラグをコンセントに差し込む

2 電源・加湿調節ツマミを右に回して
運転を開始する

最大（MAX）約400mℓ/hまで
加湿量の調節可能です。

※最小（MIN）のとき、周りの
温度・湿度条件により霧が見
えにくいことがあります。

3 電源・加湿調節ツマミを左に回して
運転を停止する

タンクの水がなくなったら

タンクの水がなくなると、電源・給水ランプ
（赤）が点灯し、運転を自動的に停止します。
タンクに水を入れると、再び運転を開始します。

お手入れと収納

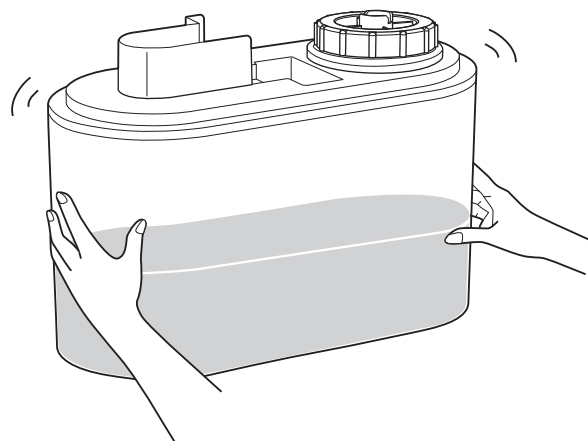
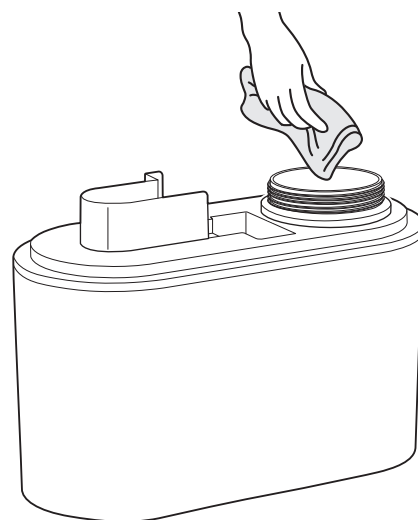
お手入れのしかた

⚠ 警告

- お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜いてください。
  感電やけがの原因になります。
- お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使用しないでください。
  洗剤から有毒ガスが発生する原因になります。
- 使用中や使用直後はお手入れしないでください。
  感電やけがの原因になります。

■ タンク・タンクキャップ　毎日

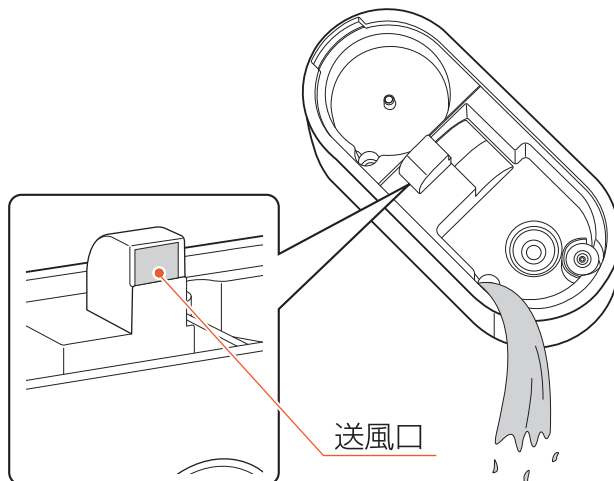
タンクに少量の水を入れ、タンクキャップを閉めて振り洗いし、排水してください。

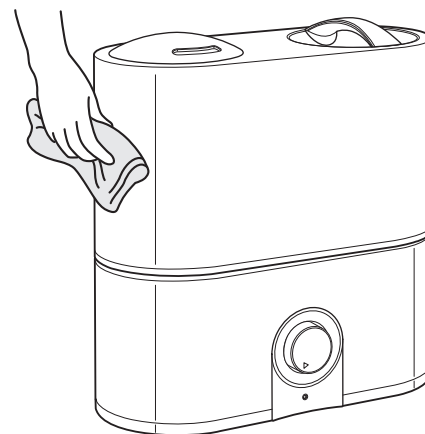
汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用合成洗剤を使用してください。
その際は、洗剤が残らないようしっかりすすいでください。

また、月1回程度タンクの中をよくしぼった柔らかい布で拭き取ってください。

■本体　2週間に1回程度

1 本体からタンクをはずす

2 本体に残っている水を排水する

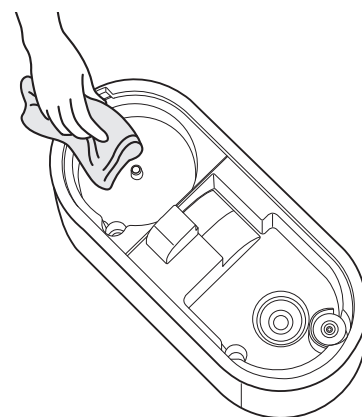
⚠ 注意

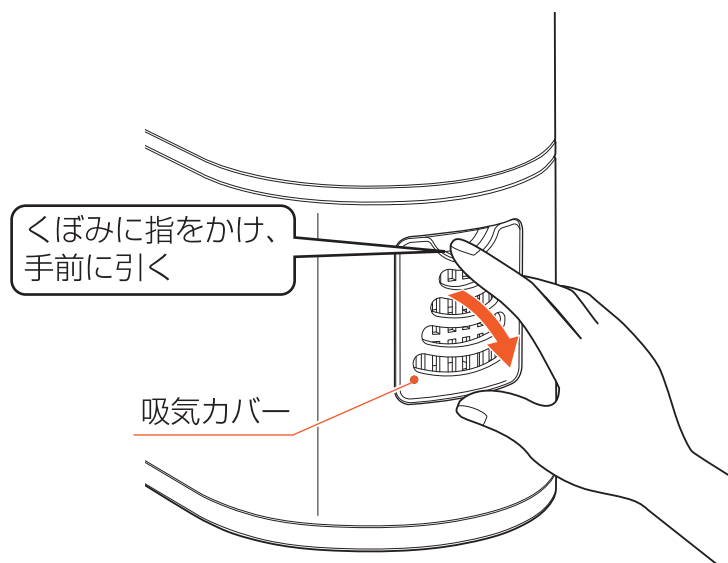
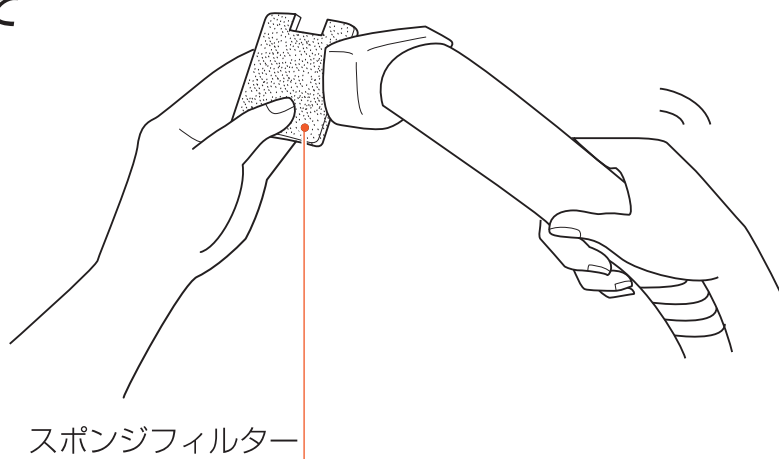
送風口に水が入らないようご注意ください。電気部品が濡れ、故障の原因になります。

3 水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布を、よくしぼって拭き取る

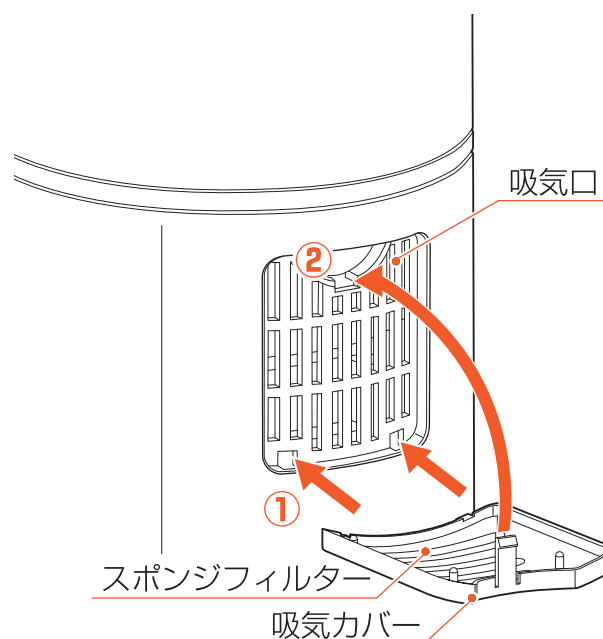
汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用合成洗剤で拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった布で拭き取ってください。

⚠ 注意

●水をかけないでください。
　感電・けが・故障の原因になります。

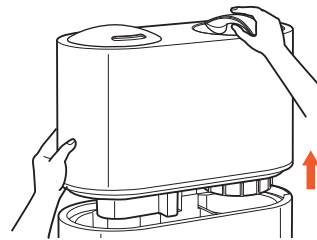
●アルコール・シンナー・ベンジン・みがき粉などは使用しないでください。
　製品を傷めることがあります。

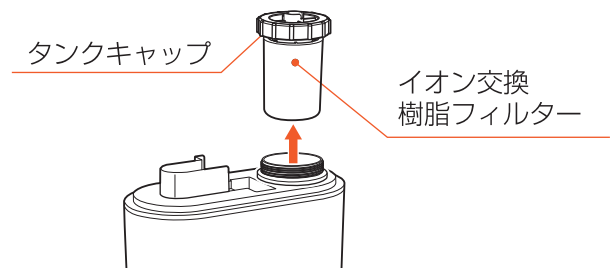
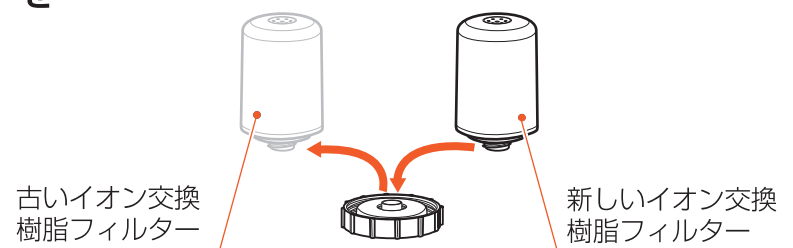
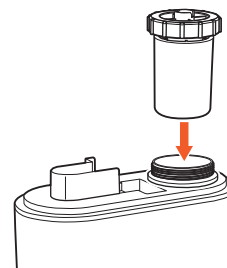
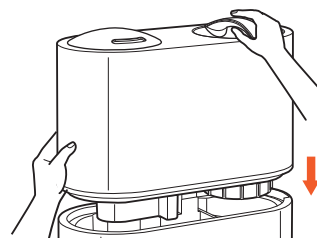
●化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きに従ってください。

■スポンジフィルター　1週間に1回程度

1 本体から吸気カバーをはずす

2 スポンジフィルターをはずして掃除機でほこりを吸い取る

3 スポンジフィルターと吸気カバーを元通り本体にセットする

吸気カバーにスポンジフィルターをセットし、①②の順で吸気カバーのツメを吸気口の穴に押し込んでください。

■イオン交換樹脂フィルターの交換　シーズンの初めに必ず行う

1 **本体からタンクをはずす**

取っ手とタンクの底を持って
はずしてください。

2 **タンクを水場へ持っていき
タンクキャップをはずす**

イオン交換樹脂フィルターに
注意しながらはずしてください。

3 **古いイオン交換樹脂フィルターを
はずし、新しいもの（別売）と
交換する**

4 **交換後、タンクキャップを
タンクに取り付ける**

5 **タンクを本体に取り付ける**

収納のしかた

- ●お手入れのあと、各部の水分をよく拭き取り、陰干しして十分乾燥させてください。
- ●お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ない所に収納してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状　態	考えられる原因	処　置
加湿されない	●タンクや本体内の水がなくなった ●イオン交換樹脂フィルターがつまっている ●超音波振動板が動かない	●タンクに給水してください。（10ページ参照） ●新しいイオン交換樹脂フィルターに交換してください。（15ページ参照） ●修理を依頼してください。（裏表紙参照）
タンクに水が入っているのに、赤いランプが点く	●タンクが外れている ●本体が傾いている	●タンクを本体にしっかりとはめてください。 ●水平で安定した台の上に設置してください。
霧の出が少なくなった	●スポンジフィルターが目詰まりしている	●スポンジフィルターを掃除してください。（14ページ参照）
水が漏れる	●タンクキャップが閉まっていない ●本体が傾いている	●タンクのふたをしっかりと閉めてください。 ●水平で安定した台の上に設置してください。
白い粉が出る	●お使いの水道水の中に含まれるミネラル成分が多すぎるために発生している	●すぐに水に浸した柔らかい布を固くしぼって拭き取ってください。 ●イオン交換樹脂フィルターを交換するか、アイリスコールにご相談ください。

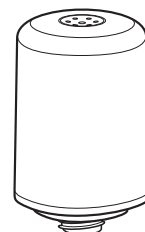
それでも解決できないときは

●ご購入の販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。

警告　ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

別売品

□ハイブリッド加湿器「イオン交換樹脂フィルター HBK-15B」

※使用頻度や水質などによって、交換時期は変わりますので、白い粉の発生状況に注意してください。

仕様

品　　番	UHM-400T
電　　源	AC100V　50／60Hz
定格消費電力	90W
加　湿　量※1	最大（MAX.）運転時：約400㎖/h
加 湿 時 間	最大（MAX.）運転時：約10時間
適応床面積	木造和室：11㎡（7畳）　プレハブ洋室：18㎡（11畳）
タンク容量	約4.0ℓ
製品サイズ	幅305mm×奥行150mm×高さ315mm（コード含まず）
製 品 重 量	約2.8kg（水無し）
電　気　代※2	1時間当たり約2円

※1　加湿量は、室温20℃、湿度約50%の場合の目安です。
※2　電気代は、1kw/hあたり22円を目安に計算した場合です。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買上げの際に、所定の事項が記入されている保証書を販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買上げ日より1年間です。
無料修理保証期間中に故障が起きた場合は、保証書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。詳しくは、保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについてご不明な点は

お買上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。